

# ATグループ本社北館

AT-Group Head Office North Building

No. 13-048-2017作成

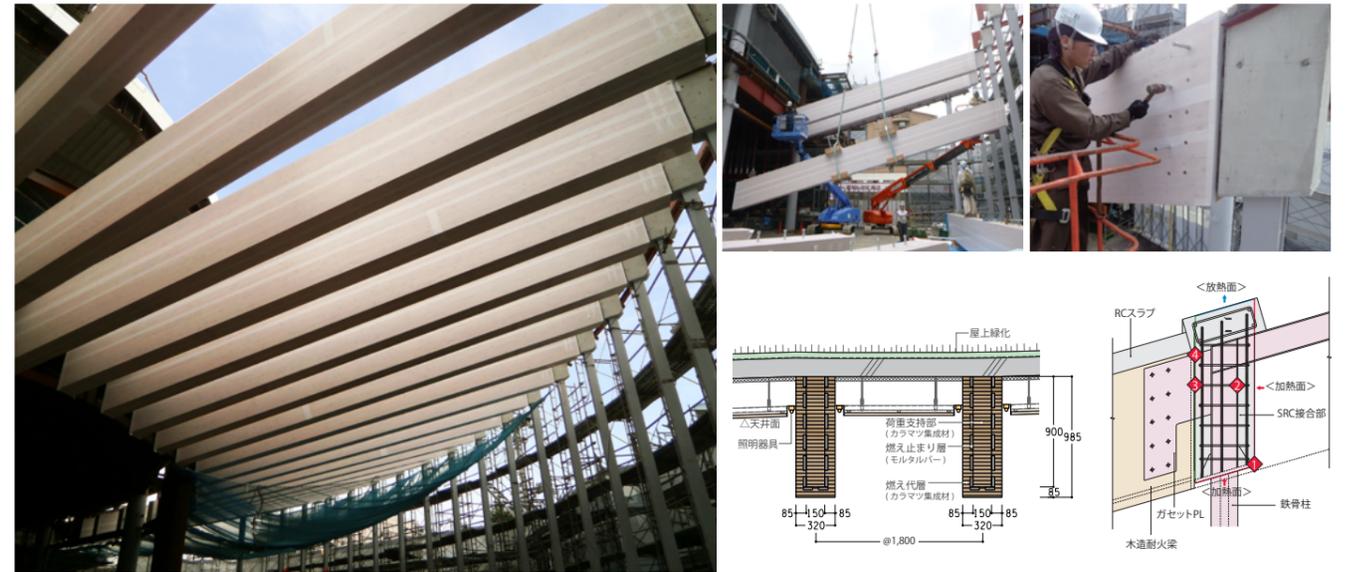
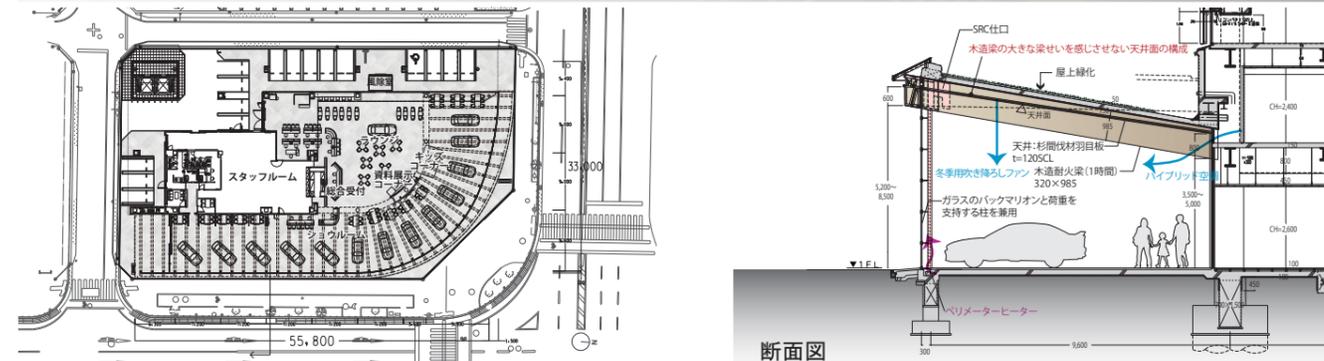
新築

その他/事務所

発注者	株式会社 A Tグループ	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO <sub>2</sub> 技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/FB
設計・監理	株式会社竹中工務店 TAKENAKA CORPORATION	E. リニューアル F. 長寿命化 G. 建物基本性能確保 H. 生産・施工との連携	
施工	株式会社竹中工務店	I. 周辺・地域への配慮 J. 生物多様性 K. その他	

## 街を彩る木の器

日本の自動車産業黎明期より地域と発展してきた愛知トヨタ自動車の80周年を記念する本社ショールームの建替。自動車は本来外を走り建物内で飾るものではないため、気積を大きく取って外部と一体感をもたせ、「木造のショールーム」というハイブリッドな建築とすることで、技術革新を未来に発信する空間を志した。表情の豊かな床タイルや杉間伐材のリップ壁面による陰影が木造の梁と一体となって展示車の背景となる「インテリア」は、ガラススクリーンを介して街に表出することで色とりどりの車を街へ開く「器」となった。商業施設は表層の新しさが求められ短い時間で消費されることもあるが、架構を現しの木造として車を包む「器」とすることで変わらないものを表現し、時間と共に移り変わる照明演出を加え、存在を際立たせながらこれからもずっと街と共にありつづける「ランドマーク」としている。



長さ10m、重さ2tを超える木造梁の施工

耐火構造を可能にする燃エンウッド



床(車)と天井(建築)のクロスウェーブ

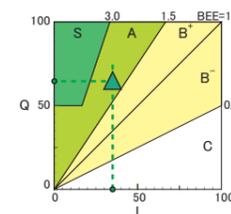


時刻とともに表情を変える照明演出



東海地方のモノづくりの精神を杉間伐材など素材のもつ豊かな特徴を新しい形態で表現したインテリア

建物データ	省エネルギー性能	CASBEE評価
所在地	PAL削減 7%	Aランク
竣工年	ERR (CASBEE準拠) 35%	BEE=1.8
敷地面積	LCCO <sub>2</sub> 削減 30%	2010年度版自治体提出
延床面積		
構造		
階数		



設計担当者 建築：長谷川寛、伊藤貴弘、石黒紘介/構造：山田基裕、北川昌尚、設備/桂川佳裕、内山貴司

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- O2. 2. 耐用性・信頼性 (災害対応用非常用発電機、井水雑用水供給)
- LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制 (日射取得低減 (ルーバー)、高性能ガラス)
- LR1. 2. 自然エネルギー利用 (太陽光発電、自然換気システム)
- LR1. 3. 設備システムの高効率化 (LED照明、ブラインド、昼光センサー)
- LR1. 4. 効率的運用 (BEMS)
- LR2. 1. 水資源保護 (節水器具、井水利用)